

スイカ炭疽病防除の徹底を！

現在、一部の地域では、スイカ炭疽病が多発しています。
炭疽病菌は、雨滴によって、病原菌が飛び散り、莖葉や果実に感染します。
7月は雨が多く、炭疽病が発生しやすい条件が続く見込みです。
排水対策につとめ、薬剤散布を行いましょう。

防除対策

1. 耕種的防除（排水対策、伝染源の除去）

- (1) 圃場の周りの排水溝を整備し、水がたまらないようにする。併せて、敷きわらやポリマルチを行う。
- (2) 不要な側枝は早めに除去し、採光と通風を図る。摘果玉は、圃場外に持ち出すか埋設する。
- (3) 発病した株の病葉や被害果は圃場外に持ち出し、埋却等適切に 処分する。
- (4) 収穫時に、降雨で果実表面が濡れたり、土が付着した場合は、コンテナに積み込む前に固く絞ったタオルで十分拭き取る。

2. 薬剤防除

- (1) 炭疽病が発生していない圃場では、予防散布に努める。
- (2) 炭疽病の発生を確認したら、治療効果のある薬剤を5日おきに継続散布する。新しい病斑の形成がなくなったら、予防効果のある薬剤を1週間おきに散布する。特に果実付近の防除を徹底する。
- (3) 降雨後は、薬剤散布量を十分取り、果実表面にも十分薬剤が付着するように散布する。
- (4) 薬剤耐性菌の発生を防ぐために、同一薬剤は連用しない。
- (5) **収穫期が近い**ため、**薬剤の安全使用基準に注意する。**

主な防除薬剤



スイカ炭疽病の葉病斑(左)と果実病斑

薬剤名	使用時期 (収穫何日 前まで)	適用病害			効果	
		炭疽病	つる枯病	疫病	予防	治療
アミスター20フロアブル	前日まで	○	○		○	○
アントラコール顆粒水和剤	前日まで	○	○		○	
オキシラン水和剤	14日前まで	○	○		○	
ジマンダイセン水和剤	7日前まで	○	○	○	○	
ダコニール1000	3日前まで	○	○		○	
シグナムWDG	前日まで	○	○		○	○
スコア顆粒水和剤	前日まで	○	○		○	○
ストロビーフロアブル	前日まで	○	○		○	○
テーク水和剤	7日前まで	○	○		○	○
ベルコート水和剤	前日まで	○	○		○	○
ポリベリン水和剤	前日まで	○	○		○	○

※降雨の続く時期は、つる枯れ病や疫病の発生する恐れもあります。
併せて防除を行ってください。

☆最新の農薬登録情報 (<http://www.acis.famic.go.jp/search/vtllg301.do>) を確認して下さい